



# ほなみ

山形市立金井小学校

学校だより 7号

R2・10・27発行

校長：佐藤 昌彦

児童数 811名

(10月15日現在)

## 教室を飛び出した「学び」がおもしろい

学校は、大きな行事があると、その色に染まり勢いづきますが、どうしても落ち着かなくなります。魅力的な行事ほど、わくわく感やどきどき感が強くなります。

大変大きな行事だったスポーツ・フェスティバルを終え、学校は、今、静かな充実期を迎えています。日常の当たり前の時の流れの中で、穏やかだけれども着実に力を蓄える時期です。そのような中で、教室を飛び出して、地域や社会と関わる体験的で実践的な学習に子どもたちは、じっくりと取り組んでいます。

### 秋さがし

1年生は、自然の家でいろいろな秋の虫を捕まえてきました。その虫をモデルにした絵を描いています。2年生は、畑で育てているサツマイモの絵を描いています。

体験を通して、本物と向き合って描いた絵は、迫力が違うなと感じました。

1. 2年生とも、これからも生活科の学習を中心に五感を使って、楽しんだり、考えたり、作ったりする学習に取り組んでいきます。



### マスクのプレゼント

4年4組では、コロナ禍で毎日マスクが必要になっていることから、小さな子どもたちを守るために、手作りマスクを幼稚園に贈るという活動を進めています。作り方を調べ、材料を調達し、今、次々とマスクが完成

しています。また、この活動やマスクに込めた思いを絵本にまとめ、マスクと一緒に贈る計画になっているようです。人のため、社会のために自分にできることをするという温かな気持ちで、校外まで広がりを見せています。



### 山形にキタノメダカを

環境の変化や外来種の繁殖により、もともと山形に住んでいたキタノメダカは、山形市から姿を消してしまったのだそうです。今、県立西高校の先生と生徒が、そのキタノメダカの復活プロジェクトに取り組んでいます。そのことを知った5年2組は、その活動に賛同し参加することにしました。

キタノメダカを飼育するだけでなく、自然の中に復活できないかについても、これから考えていくようです。



### 手作り いこいの広場

2年目を迎えた6年5組の裏庭改造計画も、いよいよラストスパートに入ってきました。この2年間、雑草が生い茂る裏庭を、いこいのスペースにしようと、草を刈り設備作りに取り組んできました。斎藤工務店さんや、外部の方の力もお借りし自分たちの企画の実現に粘り強く取り組んできました。休み時間に作業する姿もよく見かけました。

努力の成果が、どのような形で実を結ぶのか、とても楽しみです。



# 修学旅行で山形県の魅力再発見

金井小の修学旅行は、ここ数年東京へ行っていましたが、新型コロナウイルスの感染状況から、行き先の変更を余儀なくされました。検討の結果、庄内方面への旅行となりました。

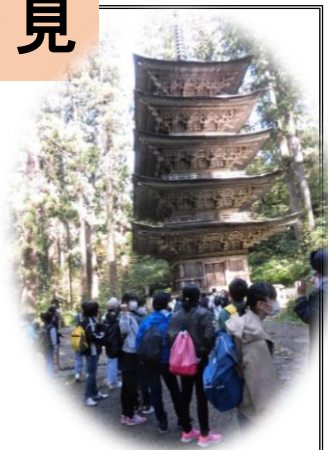
旅の始まりは、五重塔を見上げ、静寂な杉並木の参道を登り参拝した羽黒山。山伏の衣装をまとった方々と出会い、羽黒山は、日本でも有数の修験の山であることを知りました。2446段の石段を登り切った子どもたちは、その日のふり返りの中で「一人一人体力に差はあるけど、声をかけあったり助け合ったりして、登り切れたのがよかった。」と仲間と支え合ってやり遂げた喜びを語っていました。

また、県内唯一の水族館である加茂水族館は、クラゲの展示種類が世界一の水族館で、日本全国から来館者がやってくる大人気のスポットであることを感じてきました。友だちと一緒にのぞき込む水槽、感想の交流は、修学旅行ならではのひと時でした。



そして、圧巻だったのは、この日の夕陽です。温海温泉に向かう車中から見た夕陽は、欠けることなくまん丸のまま水平線に沈んでいきました。この夕陽の美しさは、しっかりと心に焼き付いています。

2日目は、山居倉庫に最上川の船下り、天候に恵まれ、仲間に恵まれた充実した旅でした。久々の県内での修学旅行では、歴史や文化、そして雄大な自然、山形の魅力を再認識でき、とてもよい学習となりました。



## 交通指導員さんの声

ある朝、交通指導員さんにお届け物に行ったら、こんなお話しを聞くことができました。

- A: 寒くなってきましたが、みんな挨拶してくれますよ。特に、班長さんが明るく、元気に挨拶してくれる班は、班のみんなも元気に挨拶してくれるようです。でも、中には黙って通り過ぎる子もいますね。何か理由があるんだろうと、心配になります。
- B: 毎朝きちんと挨拶をしてくれる班長さんが、今日は、わたしの所で立ち止まり、振り向いて班のみんなに、「交通指導のおじさんに、ちゃんと挨拶しようよ」と呼びかけてくれました。こうした気配りができる子がいることが、とても嬉しく思えました。

たまたまお二人とも、「班長」と「挨拶」の話をしてくださいました。登校班の班長はとても大変な役割です。安全や登校時刻など、様々なことに気を向けなければなりません。その班長としての姿が、下の学年のお手本になり、次の学年に引き継がれていくのだと思いました。

それが、学校の文化であり、地域の絆なのだと思います。

### 【11月の学校行事・PTA活動・地域行事】

- 1日(日) 創立120周年記念式** (金管バンド・太鼓クラブ発表)
- 2日(月) 振替休業日
- 11日(水) 市小学校教育研究会 14:00 下校
- 16日(月) 職員会議
- 19日(木) 感謝の会
- 25日(水) 尿検査

